

☆ARK Dump Viewer技術情報☆

○特徴

- ・エクスポートダンプファイルの内容をCSVファイルに変換し、CSVファイルをExcelシートとして表示。
- ・Oracleデータベースやクライアントは不要であり、単体で使用可能。
- ・ダンプファイルはexpコマンド(エクスポート)形式とexpdp(データポンプ)形式に対応。
- ・以下のデータ型に対応(2009年10月現在)
CHAR, VARCHAR, NUMBER, DATE, TIMESTAMP, BLOB, CLOB, LONG, RAW, LONG RAW ,
NCHAR, NVARCHAR
- ・最大読み込み件数、ヘッダ行(カラム名)出力有無、検索条件の指定が可能。
- ・検索条件の指定には以下の演算子を使用可能。
=, !=, <, <=, >, >=, LIKE, NOT LIKE, IS NULL, IS NOT NULL
- ・検索条件式には以下のSQL関数を使用可能。(2009年10月現在)
SUBSTR, SUBSTRB, LENGTH, LENGTHB, UPPER, LOWER, LPAD, RPAD, LTRIM, RTRIM,
INSTR, INSTRB, TO_CHAR, TO_DATE, TO_NUMBER, SYSDATE
- ・BLOB,CLOB,LONGのバイナリカラム値を任意のファイルに出力することが可能。
- ・DATE型、TIMESTAMP型のカラムは、出力書式をTO_CHAR関数の引数形式で設定可能。
- ・データベースキャラクタセット(文字コード)はSJIS,EUC,UTF8に対応。
CSVファイル出力時にSJISコードに変換を行い、Excelシートで表示。
- ・複数ダンプファイルから校正された分割エクスポートに対応(コマンドライン版のみ)
- ・Windowsだけでなく、UNIX、Linuxなどでエクスポートされたダンプファイルも処理が可能。
- ・動作確認済みOracleバージョン: Oracle9i, Oracle10g, Oracle11g (8i以前も対応が可能)

○実装方式

- ・ExcelマクロよりダンプファイルをCSVファイルに変換するDLLを実行後、ExcelでCSVファイルをオープン。
- ・ドラッグ & ドロップによりファイル中の全テーブルの先頭5行を表示するフリー版プログラムもご用意。
- ・CSV変換部の実行プログラムはC言語で作成しており、コマンドライン版もご用意。
- ・UNIX、Linux版製品ARK E2Cはライセンス購入者へソースコードを公開。

○想定ユーザ

Oracleに関わるDBAから開発担当者、保守運用担当者の方まで幅広く活用していただけます。また実行プログラム本体は単独でバッチ処理やOracle以外のDBへの移行作業で使用していただくことも可能です。

○活用例

- ・インポート前にデータ内容を確認。
- ・開発や試験時にエビデンスとして保管されている、数の多いダンプファイルの内容確認。
- ・エクスポートされて保管されている過去分退避データの調査。
- ・外部持ち出し申請されたダンプファイルに個人情報が含まれているかを監査。
- ・サーバ上に放置されたダンプファイル(ゴミファイル)に個人情報が含まれているかを監査。

○他社製品比較

- ・2009年10月現在、類似製品の存在は確認できておりません。(当社調べ)

○販売予定価格とライセンス形態

¥7,500/1クライアント(PC)インストール (2009/10改定)
20ライセンス以上ご購入の場合はソースコードを公開いたします。

○問い合わせ先

アークトラン株式会社 www.arktran.com